



2007年9月13日 第2008-02号

【発行】J A M

【発行責任者】斉藤 常

【編集】政策政治グループ

03-3451-2425

E-MAIL : seisaku.seiji@jam-union.jp

安倍首相辞任にあたって連合が事務局長談話

本日、連合古賀事務局長が、安倍首相の辞任にあたり事務局長談話を発表しました。所信表明演説を行った直後の辞任は前代未聞であり、このような事態を招いた責任は与党自民党・公明党にもあると述べ、国会の混乱と空白を速やかに收拾するよう与党に強く要請するとしてい

ます。

また、第168臨時国会における、JAM組織内国会議員等の所属委員会が決定しました。今回も津田参議院議員は、労働法制や年金等を審議する厚生労働委員会委員となりました。

安倍首相の辞任について（談話）

連合事務局長 古賀伸明

- 9月12日午後2時、安倍首相は緊急記者会見で辞任を表明した。7月の参議院選挙における民意を忖度せず政権の継続を訴え、内閣改造、そして10日に開会した第168臨時国会での所信表明演説を行った直後の辞任は、憲政史上前代未聞のことである。安倍首相の責任はもとより、こうした事態を招いた責任は、与党自民党・公明党にもあると指摘せざるを得ない。
- 安倍首相は辞任の理由として、海上自衛隊のインド洋での給油活動の継続のために、民主党小沢代表との党首会談を呼びかけたが受け入れられなかったことを挙げている。そしてこの局面を転換するためには、新しい総理の下で行うべきと判断したと語った。
今臨時国会において最大の争点となったテロ特措法の延長問題について、国会での与野党の論戦を通じて給油活動の実態が明らかにされるとともに、「テロとの戦い」のあり方について議論が深まることを期待していた矢先の辞任に対して、連合は驚きと失望を禁じ得ない。
- また、今臨時国会はテロ特措法だけでなく、民意として参議院選挙で示された構造改革路線の負の側面である格差社会問題や「消えた年金」問題さらには「政治とカネ」の問題など、国民生活に密接な課題の解決に向けて全力を尽くすことが期待されている。連合は、安倍首相の突然の辞任により生じた国会の混乱と空白を速やかに收拾し、国内外から求められる諸課題に全力を傾注するよう、与党自民党・公明党に対し、強く要請する。

【JAM組織内議員等の所属委員会】

衆議院	委員会
筒井信隆議員	農林水産委員会
	災害対策特別委員会
参議院	委員会
津田弥太郎議員	厚生労働委員会
	予算委員会（理事）
	少子高齢化・共生社会に関する調査会
辻 泰弘議員	財政金融委員会（理事）
	予算委員会
	政治倫理の確立及び選挙制度に関する特別委員会
とどろき利治議員	環境委員会
	政府開発援助等に関する特別委員会

